

登録番号⑨

テーマ:公共交通機関 & 課題改善のアイデア

2017年10月の防長バスのダイヤ改正で、午後4時台の徳山駅から下松駅のバイパス経由のバスが突然なくなり、施設からの帰りのバスに利用されてた方が困っています。

●徳山中央病院前から、午後4時台のバスで下松駅まで帰ってきましたが、そのバスがなくなり、1時間施設で待たせて貰って、午後5時42分のバスで帰ってきています。山陽本線も考えたのですが、やはり心配なので変更する事が出来ません。母も仕事があるので、迎えに行く事も出来ません… 慣れてはきましたが、毎日1時間帰りが遅くなるのは、負担みたいです。(下松市在住 通所施設に通っているお子さんをお持ちのお母さまAさんより)

●我が家は 1時間以上 帰るのが遅くなるのは 毎日の生活には 大変なことだと思いい、施設外就労で、今まで帰りは施設に戻っていたが、施設にもどらず 徳山医師会病院から直接 中央線経由 慶万のバス停にのることにしました。バス停・通勤方法を変えることは 普通は 何でもないようなことかもしれませんが、また 何度か 親子で練習をしたり 親子で不安 心配な日々があります。親も 年を重ね 変化に順応するのが難しくなっています。公共交通機関は 運転できない障害のある方にとって、とても大切です。変更がある度に何とか考えながら工夫はしていますが、障害のある方が困っていることもご理解をいただけたらいいなと思います。(下松市在住 通所施設に通っているお子さんをお持ちのお母さまBさんより)

ニックネーム はるひ さん

第1回目交流会（H30.8.4）での発言、意見等

1. いろいろな立場からの暮らしやすさに関わる課題(道路、交通機関、移動等)

登録番号⑨ 障害のある方にとっての公共交通機関の時刻変更

a. 【登録番号⑨の内容と同様の経験をした当事者の方から】

ダイヤ改正の影響で、以前と比べ、就労先への行き帰りにすごく時間がかかるようになり、心理的に不安なこともあるが、友達に連絡取るなどして励まされながら通っている。

b. 【当事者のお母さまから、上記 a に対するの補足】

バスのダイヤ改正で、それまで乗り換えずに行けていた就労先が、就業時刻に間に合うために乗り継ぎや乗継のために横断歩道を渡るなど移動も必要になった。バスが定刻より遅く到着し、繋ぎのバスに間に合わないこともあり、彼の頭には常に間に合うだろうか、もし遅れたら就労先に何と言おう・・・という不安と闘いながら、日々通っている。

c. 【上記 b に対して、過去に東京で暮らしていた場内の方から】

東京だったら、例えば、最終電車が遅れたら、次の乗継電車も待ってくれる。仕事に間に合うようバスの乗り継ぎも考えてあるといいけれど・・・、お気持ちがよくわかる。

d. 【子育て中のお母さまから】

免許を持たない子連れの母親としても、同感。つなぎの待ち時間が長いと大変。あんなに車はビュービュー走ってるんだから、ヒッチハイクみたいに、手を振れば、乗っけてくれんかねえと思うことがある。

e. 【当事者の方から】

個別対応に介護タクシーもあるが、高額。行政が予算を割くことはできないのか・・・